江戸時代の広島県の年表～活躍した人物・栄えた産業など～

区分	幕府などの動き	広島藩			福山藩		
		藩主	主な動き		藩主	主な動き	
1619 ～1700年 （17世紀）	1635　武家諸法度改正 （参勤交代を制度化） 1639　ポルトガル人来航禁止 （鎖国完成） 1672　西廻り航路の開設	**初代　浅野長晟** （1619～1632） **2代　浅野光晟** （1632～1672） **3代　浅野綱晟** （1672～1673） **4代　浅野綱長** （1673～1708）	■上田宗箇 安土桃山時代から江戸時代初期にかけての武将茶人・造園家で、縮景園の作庭者。 ■交通の整備 主要交通路や運輸施設の整備推進。 1633年、幕府巡見使が巡察。領内15か所に御茶屋設置。道路幅を設定し道路網を整備。西国街道に一里塚設置。 ■新開地の造成 藩の事業として新開地造成を推進。 1650年：竹原下市 1661年：海田市 1662年：仁保嶋村 1689年：広新開 1700年：宮沖新開 1701年：舟入新開 ■牡蠣づくり 江戸時代初期から広島の名産として発展した牡蠣養殖。 寛永年間（1624～44）仁保島で吉和屋平次郎が筏建養蠣法を始めました。1700年に草津株仲間結成、1707年に大坂の河川での牡蠣販売独占権を取得。 ■塩づくり 1652年、竹原塩田築造。1670年以降、各地で塩田を築造。1672年の西廻り航路の開設により、大幅に生産拡大。	**初代　水野勝成** （1619～1639） **2代　水野勝俊** （1639～1655） **3代　水野勝貞** （1655～1662） **4代　水野勝種** （1663～1697） **5代　水野勝岑** （1697～1698）	■交通の整備 寛永年間（1624～44年）、領内道路の整備を推進。山沿いに走っていた西国街道を、今津～高須～尾道の海岸沿いに変更。 1633年、幕府巡見使が巡察。領内道路に宿駅や一里塚を整備。 ■新開地の造成 藩の事業として新開地造成を推進 1641年：木之端新涯 〃　：三吉村 1642年：引野新涯 〃　：吉田村 1650年～松永湾岸 1656年：柳津新涯 1657年：深津郡下 1659年：高須新涯 ■備後表 1600年頃、備後山南村で画期的な中継表の製織法を考案。 1622年以降、幕府が御用表として買上げ。 ■保命酒づくり 1659年、鞆の浦で保命酒の醸造に成功。 1701年、御用名酒を水野家へ献上し、中村家が「名酒御用所」となる。 ■塩づくり 1667年、松永塩田築造。1670年以降、各地で塩田を築造。1672年の西廻り航路の開設により、大幅に生産拡大。
1701 ～1800年 （18世紀）	1702　赤穂浪士事件 1716　享保の改革 （8代将軍　徳川吉宗） 1782　天明の大飢饉 1787　寛政の改革 （11代将軍　徳川家斉） 1790　寛政異学の禁	**5代　浅野吉長** （1708～1752） **6代　浅野宗恒** （1752～1763） **7代　浅野重晟** （1763～1799） **8代　浅野斉賢** （1799～1830）	■広島藩の人づくり 1725年　講学所を設置（吉長） 1743年　講学館を休業（財政難が理由） 1782年　学問所を再興（重晟） ・頼春水等を登用。 ・一般人受講を許可。 1785年　教育を朱子学に統一。頼杏平が藩儒になる。 ■吉益東洞 （1702～1773） 万病一毒説を唱え，画期的な医学を体系化した広島出身の漢方医。漢方医学の宝典とされる著書「類聚方（るいじゅうほう）」は、全国的なベストセラーに。 ■星野良悦 （1754～1802） わが国最初の骨格標本を作り、臨床医療に貢献。1800年木骨を幕府に献上。1889年パリ万博出品。 ■社倉・義倉 災害対策として設立された備蓄倉。 1747年：安芸郡矢野村で有志が社倉設立。 1770年：広島藩が社倉法意頭書を発布。 1780年：藩が、藩内16郡の各町村に社倉を設置。	**初代　松平忠雅** （1700～1710） **初代　阿部正邦** （1710～1715） **2代　阿部正福** （1715～1748） **3代　阿部正右** （1748～1769） **4代　阿部正倫** （1769～1803）	■福山藩の人づくり 1786年　弘道館を設置（正倫） ■菅茶山 （1748～1827） 学問を志す人、いわゆる「学種」の育成に情熱をかけた神辺の漢詩人。1781年、神辺に私塾「黄葉夕陽村舎（廉塾）」を開く。 1801年、福山藩校「弘道館」の儒官となる。 ■社倉・義倉 災害対策として設立された備蓄倉。 1788年：芦田郡府中市で商人等が社倉設立。 1805年：千田村で藩の支援のもとに福府義倉を設立。 1862年：福山藩の主導で、社倉を設置。
1801 ～1900年 （19世紀）	1833　天保の大飢饉 1841　天保の改革 1853　（12代将軍　徳川家慶） ペリー来航 1854　日米和親条約締結 1858　安政の大獄 1860　桜田門外の変 1863　下関事件・薩長戦争 1864　池田屋事件・禁門の変 〃　第1次長州戦争 1866　第2次長州戦争 1866　薩長同盟 1867　大政奉還 1868　王政復古の大号令	**9代　浅野斉粛** （1830～1858） **10代　浅野慶熾** （1858～1858） **11代　浅野長訓** （1858～1869） **12代　浅野長勲** （1869～1871）	1869年　学問所を移転・拡張、修道館に改称。 1871年　廃藩置県により休業。 1878年　私立浅野学校設立 1881年　学制を改革し修道学校に改称。 1905年　文部省認可の修道中学校となる 1931年　浅野長勲が校地を寄贈。 ■頼家三兄弟 全国に名声を響かせ竹原の「三頼」と呼ばれた頼家の三兄弟。 ○高名な学者になった長男春水（頼山陽の父）(1746～1816) ○竹原文化に貢献した次男の医者春風（1753～1825） ○広島藩政に寄与した三男杏坪(1756～1834) ■頼山陽 （1780～1832） 「日本外史」などを執筆し、幕末の思想界に影響を与えた竹原出身の偉大な朱子学者、歴史学者、文学者。	**5代　阿部正精** （1803～1826） **6代　阿部正寧** （1826～1836） **7代　阿部正弘** （1836～1857） **8代　阿部正教** （1857～1861） **9代　阿部正方** （1861～1868） **10代　阿部正桓** （1868～1869）	1852年　阿部正弘は新学館建設の意志と、1000両の手許金下賜を表明した。 1853年　丸山誠之館設置（正弘） 1855年　福山誠之館設置（正弘） 1872年　廃藩置県で閉校 1879年　広島県福山中学校として再生。 1948年　学制改革により広島県福山誠之館高等学校となる。 ■富田久三郎 （1828～1911） 備後絣を創始して、備後の織物業の発展に貢献。1861年、「文久絣」という備後絣の織り上げに成功。1900年、芦品郡内に備後織物株式会社等を設立。
1901年～ （20世紀）							